

2024年度 コンプライアンス研究部会

部会長 Meiji Seika ファルマ株式会社
三輪 武司

コンプライアンス研究部会とは？

コンプライアンスとは、

法令を守ることはもちろん、社会的要請を正確に把握して、これに応じた行動をとること

コンプライアンス研究部会では、

社会的要請に応えるべく、各社のコンプライアンス対応力向上を目指していきます

目次

1. 部会紹介

2. 2024年度 活動の振り返り

3. 2024年度 研究テーマ

1. 部会紹介

- 参加メンバー ※2025年1月1日現在
 - 企業 56社
 - 会員 77名（関東分科会56名、関西分科会21名）
 - アドバイザー 3名（弁護士2名、医法研参与1名）

| | 開催日時 |
|------------------------|------------------------|
| 関東分科会 【合同会議＋グループ討議】 | 原則第1木曜日 15：00～17：30 |
| 関西分科会 | 原則第2水曜日 16：00～17：30 |

【開催形式】

基本的に、合同会議はオンラインでの開催
各グループの判断により、リアル開催を行う場合は、
各グループにて場所を確保

2. 2024年度 活動の振り返り

| | |
|--------------------------|---|
| 部会内発表 (情報提供G) | 5月 9日 「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドラインQ&Aその4 発出に伴うグループ討議の報告」 |
| 懇親会 | 6月 7日 関東分科会、6月12日 関西分科会 |
| 月例会発表 (次世代コンプライアンスG) | 8月20日 <研究テーマ名> コンプライアンス2.0 2030年のコンプライアンスプログラムを大胆に予測する |
| 部会内発表 (コンプライアンス教育G) | 11月7日 「2024年4月～7月までのグループ討議の内容」 |
| 東西交流 WEB親睦会 | 11月7日 |
| 講演会(関西分科会) | 1月 8日 テーマ「販売情報提供活動ガイドライン」 講師 渡邊 伸一 先生 帝京平成大学 薬学部薬学科 薬事・情報学ユニット 教授 |
| 誌上発表 (グローバルコンプライアンスG) | 2月 <研究テーマ名> 「グローバル内部通報に関する現状と課題」 |
| 講演会(関東分科会) | 3月 6日 テーマ「医薬品・医薬関連企業によるWEBマーケティングをとりまく表示規制（景表法ステマ規制の最新執行動向を中心に）」 講師 弁護士 山田 瞳 先生 のぞみ総合法律事務所 |

参考) 過去の部会発表 (月例会・誌上発表)

| 年度 | 発表 | 研究テーマ |
|------|-----|--|
| 2023 | 月例会 | 情報提供のあり方/現状の把握、製薬企業ができること、あるべき姿に向かって (情報) |
| | 誌上 | コンプライアンス教育・啓発の手法に関する実態調査及び評価方法の研究 (教育) |
| 2022 | 月例会 | 内部通報体制の現状と在り方 ～アンケート結果と国内外の公益通報者保護法制の比較から考える～ (グローバルコンプライアンス) |
| | 誌上 | 社会の要請とコンプライアンス (関西) |
| 2021 | 月例会 | コンプライアンス教育・啓発のオンライン研修の手法について (教育) |
| | 誌上 | 販売情報提供活動の多様化に伴うプロアクティブなリスク管理 (情報) |

3. 2024年度 研究テーマ

| | |
|----------------------------|--|
| 情報提供G | 「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドライン」にかかる研究を継続。Q&Aその4の分析に加え、日常の情報提供（面談・講演会等）での在るべき姿や課題について様々な観点から考察を深める。 |
| グローバル コンプライアンスG | 2025年2月の誌上発表に向けて、グローバルコンプライアンスという枠組みで、メンバーが気になる問題を取り上げて、各社の対応を共有する。前提となる各社の考え方の理解を図ると共に、各社のコンプライアンス体制や活動の違いについて考察する。 |
| コンプライアンス 教育G | 24年2月に教育トレーニングの評価法に関する誌上発表を終え、今年度は広くコンプライアンス教育に関わる実務面の情報交換をしつつ、夏頃を目途に、新たな研究テーマ設定に向けた議論を平行して進める。 |
| 次世代 コンプライアンスG | 現在の社会で新たに生まれた概念、価値観、技術などを、今後のコンプライアンスにどのように取り入れるのか、コンプライアンス部門がどうあるべきか、といったコンプライアンスの将来像を考察する。 |
| 関西分科会 | 新メンバーも含め14社20名の参加の元、関心の高いテーマ別意見交換や持ち寄り議題を中心に、本年度も実務面での情報交換を目的として月1回の研究討議を行う。四半期の対面会議、交流会を継続し、年度の後半には講演会を開催する。 |

3. 2024年度 研究テーマ

年間スケジュール／月例会・誌上発表ローテーション

| | | | |
|---------------|--------|-----|----------------|
| 2024年度 | 部会内発表① | 5月 | 情報提供G |
| | 月例会発表 | 8月 | 次世代コンプライアンスG |
| | 部会内発表② | 11月 | コンプライアンス教育G |
| | 誌上発表 | 2月 | グローバルコンプライアンスG |
| 参考) 2025年度 | 部会内発表① | 5月 | 次世代コンプライアンスG |
| | 月例会発表 | 8月 | コンプライアンス教育G |
| | 部会内発表② | 11月 | グローバルコンプライアンスG |
| | 誌上発表 | 2月 | 情報提供G |

Thank you